

10月

城南だより

令和5年9月29日（金）
東京都立城南特別支援学校
校長 水江 知子



彼岸を過ぎ、ようやく風の涼しさや虫の音色に季節の変わり目を感じることができるようになりました。新型コロナウイルス感染症と同時にインフルエンザほか様々な感染症が同時発生的に通学区内で激増しています。本校では今後も感染者増減に左右されることなく、「感染症とともにある生活」を前提に、予防対策を継続していきます。

9月15日（金）16日（土）、4年ぶりに中学部1年生を対象として「1泊2日宿泊防災訓練」を実施しました。発災し自宅に帰ることができなくなったことを想定し、翌朝までの模擬避難訓練を行いました。2011年3月11日（金）14時46分に生じた東日本大震災では、本校校舎内で翌朝まで保護者の到着を待った高等部生徒が複数名いた、と聞いています。私は当時、江東区の学校に勤務しておりました。液状化で凹凸が激しい道路、あっという間に閉じられたスーパー、その後の物資の不足、肝心な時の携帯電話のつながらなさ、（※LINEは、この時の反省をもとに災害時の通信網混乱回避の手段として開発が一気に進んだ、とのことです※）

あの日から12年、そして関東大震災発生から100年が経過した現在、いつ来てもおかしくない、と言われている大震災に備え、本校ではこれからも必要な教育活動を展開していきます。



午前中は品川防災館で放水体験や地震発生時のシミュレーションを体験しました。授業後は、いよいよ宿泊防災訓練開始となります。生活指導の先生方の指導のもと、大田区防災課の皆さんや蒲田消防署六郷出張所の皆さんから、消火訓練や防災トイレ、発電機の使用方法等についても教えていただきました。



食事は防災食です。水道が止まっている想定のため、ペットボトルをあげ、カセットコンロで沸かしたお湯で、レトルトパックを温めたり、お粥を混ぜたりしました。お粥は分量にコツがあり、朝食時にはスムーズに準備できました。就寝前のランタン訓練では、校医の依田先生が、生徒の健康観察のため来校してくださいました。参加生徒は全員元気で一安心です。

保護者の皆様はじめ地域の多くの皆様の支えにより、無事終了できました。本当にありがとうございました。実施後の評価をもとに、今後さらに役立てられる訓練を実施していきます。